

宮城伸子氏（知念中学校長）を講師に「琉舞」のクラブ活動スタート

沖縄の文化にふれる機会とするため、後期のクラブ「琉舞」全3回が宮城伸子氏（南城市立知念中学校長）を講師に、12月4日（金）にスタートしました。

クラブ「琉舞」が初めての教育研究員の皆さんは緊張気味でしたが、丁寧に分かりやすく擬態的に「かぎやで風」を教えてください、宮城伸子校長先生のおかげで1番を上手に踊れるようになりました。



写真1 活動の様子

【クラブ 琉舞の概要】

「かぎやで風」

- 1 基本 扇子の持ち方、立ち方、すり足等
- 2 かぎやで風 1番を中心に練習
- 3 かぎやで風 2番～4番

【教育研究員の感想】（研修日誌から）

クラブ琉舞では、宮城伸子先生が琉舞の基本的なことを丁寧に教えて下さいました。私は、足がつるくらい一生懸命、伸子先生の真似をしてみたのですが、歩くことさえ上手にできませんでした。琉舞は奥が深いなと感じさせられました。シェイプアップになると聞いたので、がんばります。

（比嘉頼子）



写真2 講師を囲んで

今日は初めての琉球舞踊でした。だいぶ昔の13祝いで舞台上で踊ったのですが、前日に何度も怒られながら踊りの先生に習った思い出しかありません。でも、今回は優しく怒らなかったのがなんとか最後まで持ちました。ただ、前に習った時と同様に難しいのは変わりません。まあ、沖縄の文化を垣間見るといいう気持ちで楽しく頑張っていきたいと思います。

（久高友弥）

初めてのクラブ琉舞では、過密スケジュールの中でのクラブということもあり、半分研究のことを思いながら参加しましたが…伸子先生の丁寧な指導の下、扇子の持ち方や立ち方、歩き方などを習い、全体に重心を置いて、一あたり半程度進む歩き方ができるようになりました。今日は、「かぎやで風」の一番まで練習できたので、次回は残りの3番を少しでも長く踊れるように頑張ります。

（富名腰由紀）

クラブ琉舞では、宮城伸子校長先生に指導してもらいました。伸子先生のようにウエストや姿勢がきれいになるように練習していきたいです。

（波照間生子）